



神谷 利盛 議員

高浜市市政施行50周年 記念事業

「鬼師」と「鬼滅の刃」との コラボ企画事業について

問 この企画の目的は。

答 コラボすることで、
①「鬼師」の技術をPRし、
当市の魅力を全国に発信す

る。②市外から人を呼び込み、当市のファンを増やす。③まちへの愛着を高める。

問 いつから検討を始めたのか。

答 平成30年6月14日鬼師との検討会から。

問 具体的な取組み内容は。

答 ①企画のシンボルとして、鬼滅キャラクターの瓦モニュメント制作・展示。

②コラボ瓦制作の体験ワークショップ。

③コラボ瓦グッズの販売。

④市内を回遊するデジタルスタンプラリー。

問 取組み内容の経過報告を。

答 ①来訪者数の把握はできていないが、土日の来訪者は多数。

②11月／定員150名程度に対し、申込者は430件。12月／7,500件。

③12月6日時点で、約3,600点の関連グッズの販売。

④11月23日時点で、約4,200名が参加。

問 メディアに取上げられた件数は。

答 11月23日現在、TV番組／21件。新聞／26件。ラジオ／6件。インターネット系メディア／180件。今後、雑誌等にも掲載予定。広告宣伝費換算で1億円超に当たるとのこと。

問 現時点での課題・反省点はあるか。

答 ①市外からの来訪者に対し、飲食店を含め市内回遊の仕組み作りに検討余地あり。

②コラボグッズをふるさと納税の返礼品にしたかったが著作権元の許可が得られなかった。

問 期間が1／3経過したところだが、現時点での取組みの成否はどのように評価しているか。

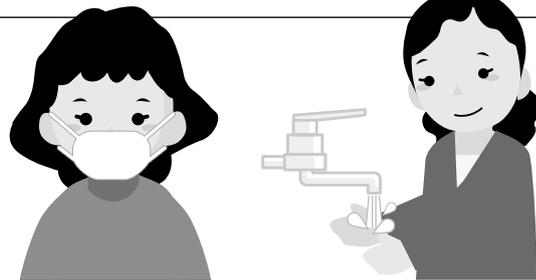
答 「鬼師／高浜」の全国への発信は高評価。市民がまちに関心を持つきっかけにはなったが、まちづくりの人材発掘までは至っていない。引き続き当市のことを行政と一緒に考え、実践できる人材の発掘をしていきたい。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る市議会の対応

市議会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、以下の対策を実施しています。ご理解、ご協力をお願いいたします。

議会運営全般

- ・マスクの着用 ・検温の実施
- ・消毒液による手指消毒
- ・換気の実施（概ね会議1時間ごと）
- ・オゾン発生器の設置
- ・傍聴自粛のお願い
- ・傍聴席の制限（39席から20席）



本会議

- ・説明員の必要最小限の出席
- ・一般質問の時間短縮等（1人あたり通常70分を40分に短縮）（発言順序ごとにおける換気の実施）
- ・発言台の使用ごとの消毒
- ・委員長報告の発言時間の短縮努力
- ・討論の発言時間の短縮努力

常任委員会

- ・説明員の必要最小限の出席
- ・委員外議員傍聴時の座席間隔の確保

議会運営委員会

- ・委員外議員傍聴時の座席間隔の確保

議会事務局

- ・時差勤務の実施